

第54回

2026/5/9

両角レディースクリニック オンライン治療説明会

40歳からの不妊治療

両角レディースクリニック院長
両角和人

Morozumi
Ladies Clinic

本日の予定

- 40歳からの不妊治療(30分)

17時30分には終了します

40歳を過ぎて治療を開始した方へ

保険の移植回数は3回しかありません。
ここが極めて重要なところです。
だからこそ最初にどこで治療を始めるかが非常に
重要です。

国が言いたいこと

- 保険診療には年齢制限があり39歳までに治療を受けることを意識してほしい。
- とにかく年齢を何よりも優先してほしい。
- それを伝えたいためのルールだと思います。
- 制度には一定の目的がありますが、現場の治療と必ずしも一致しない部分もあります。

- 締め切り効果で39歳までには6回の移植を保険で認めている。
- ただ40歳から3回に減らしているところは明らかに医学的な根拠と相反している。
- 確率が下がる中、回数を増やすことが医学的には必要。

セミナーや外来でとても良く聞かれる質問

- 42歳です。凍結胚が何個あれば良いですか？
- ただ移植を繰り返すだけの治療に不信感を感じます。
- 41歳です。どうしても授かりたいです。ここを変えればというところがあれば教えてほしいです。
- 42歳の高齢ですがベストを尽くし後悔のない治療をしたいです。

- 42歳です。3年治療しておりここで諦められないです。
- 私は42歳ですが主人が5歳下でどうしても授かりたいです。
- 40歳を超えて半分諦めていますがなんとか夢を叶えたいです。

今回これらの要望にお答えして、どういう治療をしたら授かれるか、このテーマを取り上げることにしました

40歳前半なら

- まず第一に40代前半なら授かることは普通に行えば可能です。
- ここを大前提として治療に臨むことが大切です。
- 若くないので時間がかかることはあります。
- 漫然と同じ治療法では厳しいです。
- 個別に方法を変えながら合わせる必要があります。

40代前半の方

- 妊娠できると自分を信じる事が大切です。
- 妊娠した自分を明確にイメージすること。
- ここがとても大切なことです。
- これは決して宗教じみたことではありません。
- イメージトレーニングはエビデンスがあります。

凍結胚を可能な限り作ること

- 妊娠できるとしても時間がない事は事実。
- 正しい戦略を立てることが必須。
- 正しい治療法で臨めば結果を出すことは本当に難しくありません。
- 焦って移植をすることは絶対に避けなければいけません。
- まずは可能な限り凍結胚を増やすことです。

根拠が乏しい事はしない

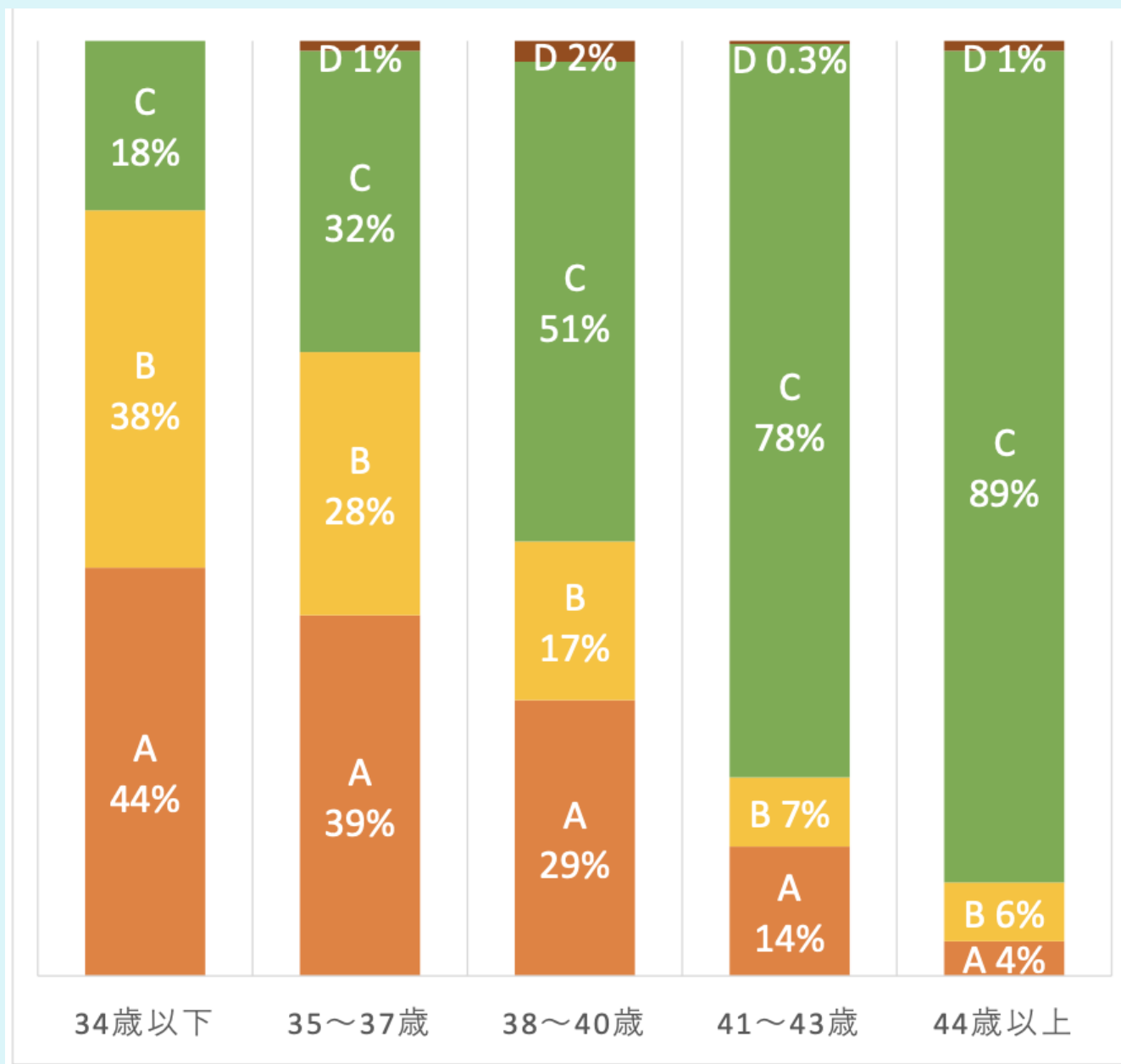
- 時間がないので根拠が乏しい事はしない。
- ERAやフローラなど明確な根拠が不足。
- IMSIやPICSIも同様に明確な根拠が不足。
- ここは必要、ここは不要とはっきりと伝えることが我々のすべきこと。
- クリニックの収益のためなどあり得ないこと。
- 時間もお金も体力も限りがある。

胚さえ良ければ妊娠する？

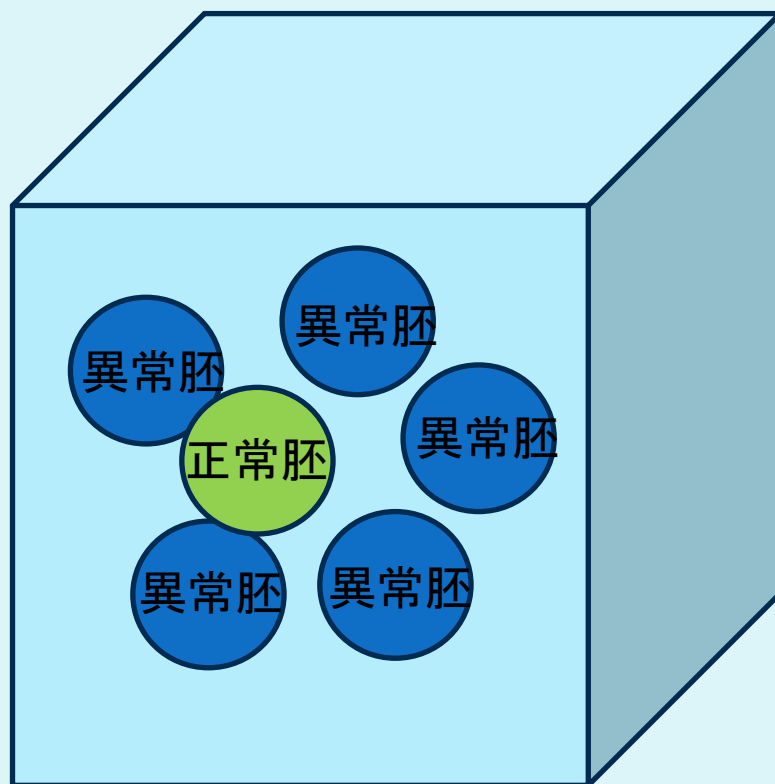
- 胚が良いことは大前提。
- 受け手側に問題がないかどうか
- 移植の技術が問題ないかどうか
- 特に子宮や卵管や腹腔内に問題がないかをしっかりと評価し治療をしないといけない
- 移植をし続けることは何も考えていないこと
- 根拠の乏しい高価な先進医療を勧めることはお金と時間の無駄になり得る。

当院のPGT成績

対象期間:2020/1/27～2023/2/8



40歳から42歳までだと正常胚の割合は20%弱
3回移植だとかなり際どいことになるが、6回移植が
できると正常胚に当たる可能性はかなり高い

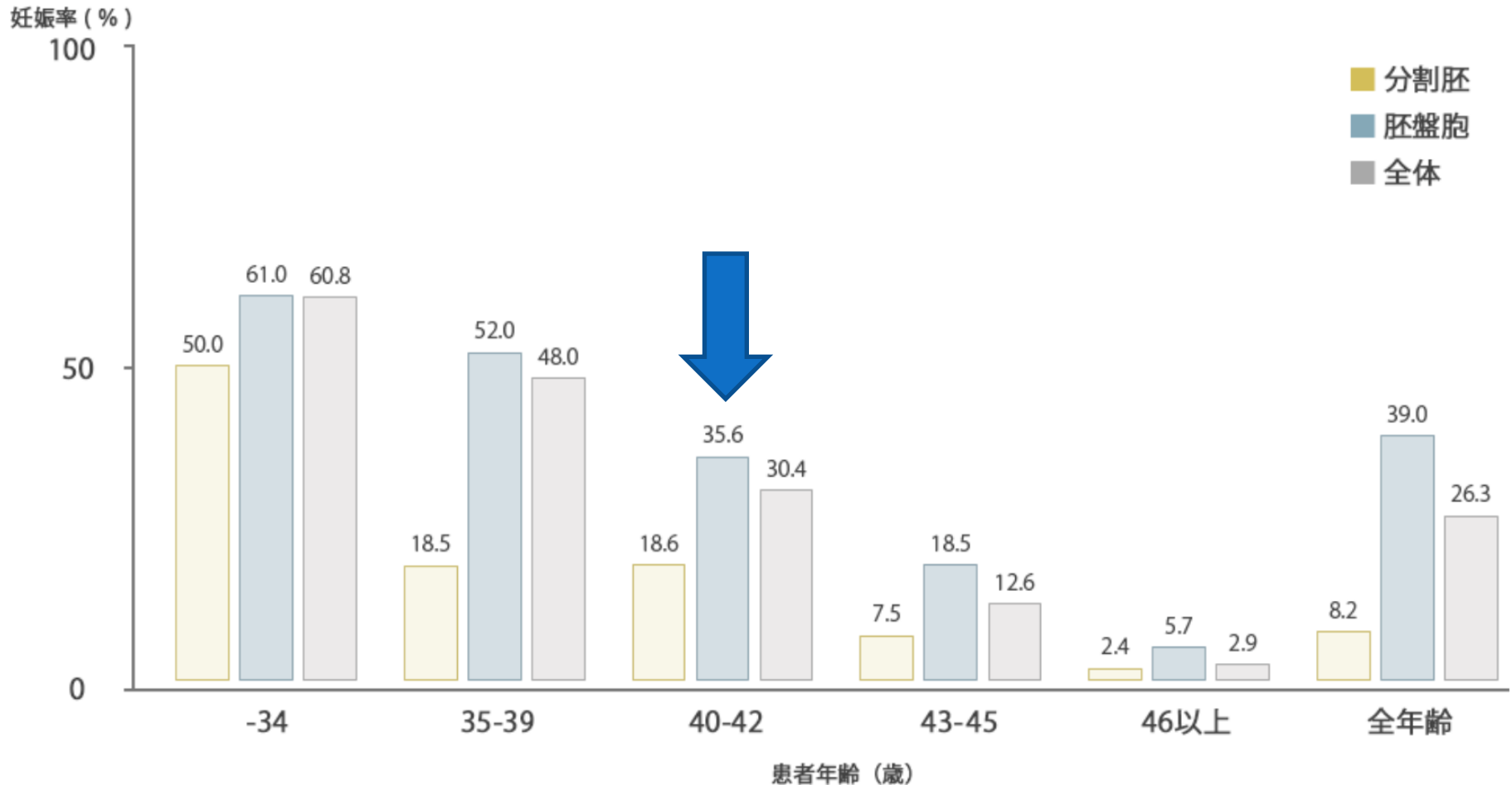


当たりがあると信じて引き続けることが大切

凍結胚が何個あれば良い？

当院の2020年の成績

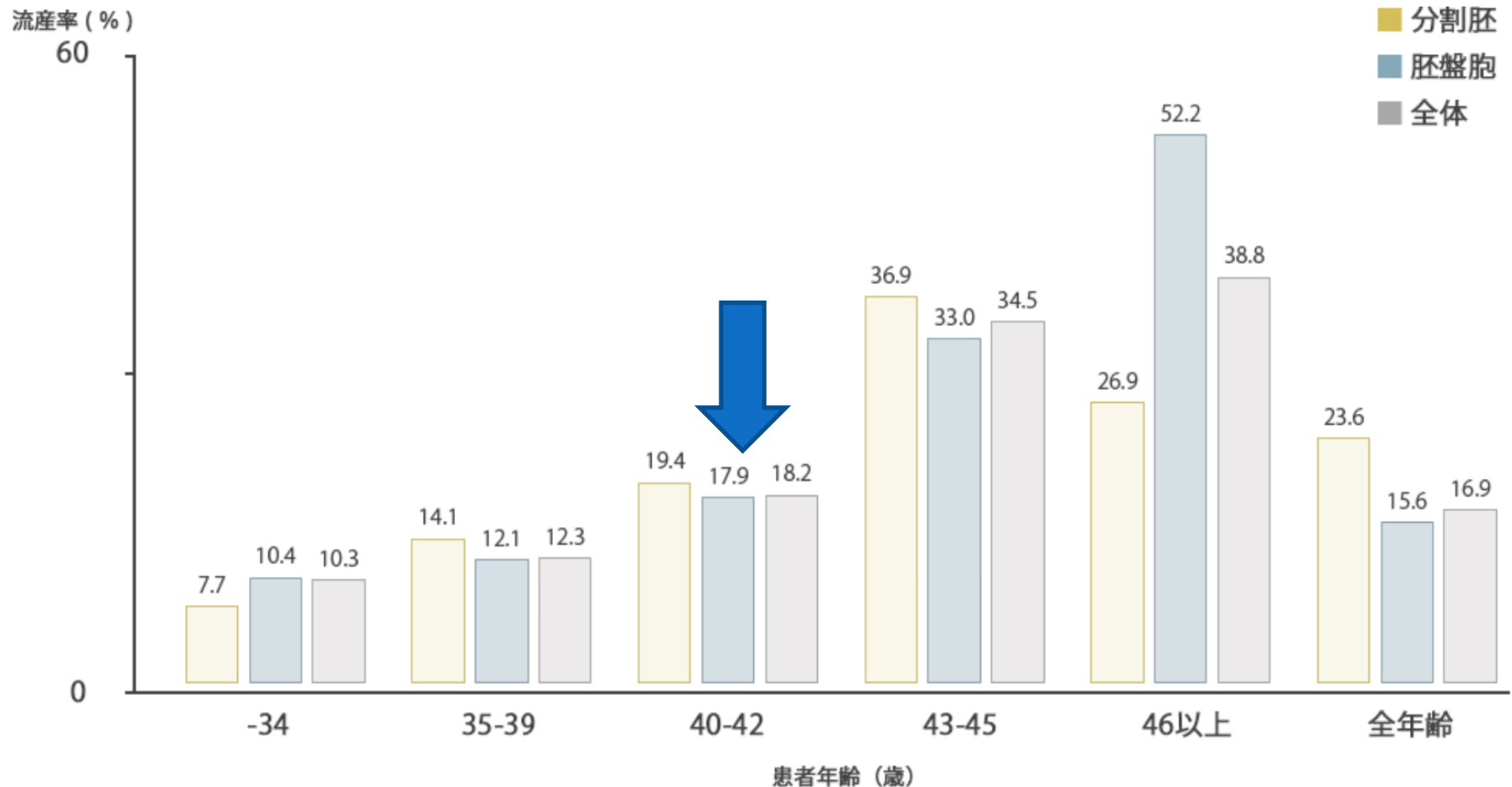
2020年（1月～12月）



40歳から42歳の方の胚盤胞で妊娠率は35%。

2割の方は流産になります。ここは避けられない事実。 流産しても結果を出すためにはどうすれば良いか??

凍結胚移植流産率 (HB-/GS+)



何回移植すると妊娠するか

- 1回あたりの成功率が35%で、**4回移植**した場合に少なくとも1回成功する確率**82.15%**。
- 5回移植 : 88.4%
- 6回移植 : 92.46%
- 7回移植 : 95.1%
- 8回移植 : 96.8%
- 9回移植 : 97.93%
- 10回移植 : 98.65%
- 11回移植 : 99.12%

流産を考えないといけない

流産を踏まえ計算すると

- 1回移植すると妊娠率は35%で流産率が18%の場合1回の移植で約28.7%の確率で出産に至る。

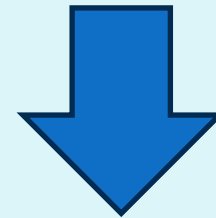
1回の移植で出産に至らない確率は

$$1 - 0.287 = 0.7131$$

$$P(n\text{回目まで成功}) = 1 - (0.713)^n$$

移植回数	出産確率
1	0.287000000000000000
2	0.491631000000000000
3	0.637532903000000000
4	0.741560959839000000
5	0.8157329643652070
6	0.8686176035923930
7	0.9063243513613760
8	0.9332092625206610
9	0.9523782041772310
10	0.9660456595783660

3回移植すれば出産
する確率は63%
際どいところ



6回移植すれば出産
する確率は87%
出産に至る可能性が
大きく高まります

繰り返すと確率が上がることを信じて移植をすることが絶対に必要

保険での凍結胚移植の費用

自然周期の場合（保険診療）

自然周期で凍結胚移植する場合

融解胚移植：36000円

AHA(アシステッドハッチング)：3000 円

エンブリオグレー：3000 円

薬剤、ホルモン検査、超音波で約 8000 円

合計 約 50000 円

ホルモン補充周期の場合（保険診療）

ホルモン補充周期で胚移植する場合

融解胚移植：36000円

AHA(アシステッドハッチング)：3000 円

エンブリオグレー：3000 円

薬剤、ホルモン検査、超音波で約 18000 円

合計 約 60000 円

自費での凍結胚移植の費用



移殖周期に入られる方の料金イメージ (約24万～26万)



①生理2～3日目 ー自然周期ー

再診料	1080
エコー検査	3240
採血(5項目)	12890
合計	17210

※排卵検査薬: 650 × 7本 = 4550

②生理12日目頃

再診料	1080
エコー検査	3240
採血(3項目)	8570
ルトラル(2錠 × 12日分)	2640
合計	15530

①生理2～3日目 ーホルモン補充周期ー

再診料	1080
エコー検査	3240
採血(5項目)	12890
エストラーナテープ(28枚)	4340
合計	21550

②生理12日目頃

再診料	1080
エコー検査	3240
採血(2項目)	6410
エストラーナテープ(28枚)	4340
プロゲステロン膣剤500mg (15個)	12750
合計	27820

③シート法当日

シート法	32400
再診料	1080
エコー検査	3240
合計	36720

⑤判定日

再診料	1080
採血(3項目)	9650
合計	10730

④胚移植当日

胚移植	108000
胚融解	32400
透明帯開口術	10800
再診料	1080
エコー検査	3240
採血(2項目)	6410
合計	161930

自然周期

合計
242120円

※判定日まで

ホルモン補充周期

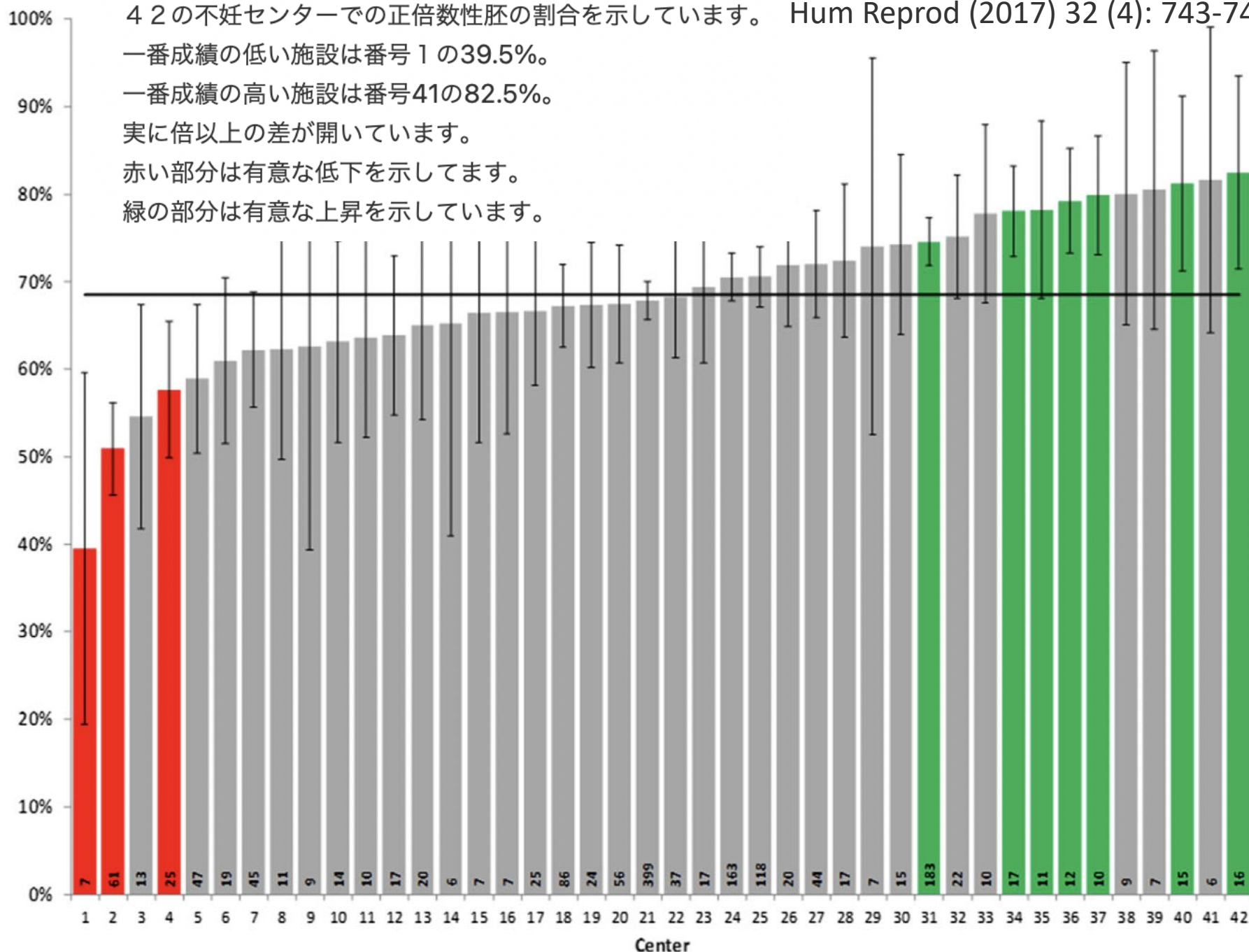
合計
258750円

※判定日まで



42の不妊センターでの正倍数性胚の割合を示しています。 Hum Reprod (2017) 32 (4): 743-749.
 一番成績の低い施設は番号1の39.5%。
 一番成績の高い施設は番号41の82.5%。
 実に倍以上の差が開いています。
 赤い部分は有意な低下を示してます。
 緑の部分は有意な上昇を示しています。

Mean Incidence of Embryo Euploidy (%)



40歳を超えてからの治療はどこで最初に治療をするかが最大の鍵

技術のみならず戦略が大切。安易な移植はしてはいけない。先に凍結胚をためるなど。

また腹腔鏡手術も先にしてから移植に入らないといけない方も多数いる。

40歳を超えてからの治療は、最初にどこで治療を行うかが結果を左右します。

40～42歳の患者さんに対する凍結胚移植支援パック運用について

当院では、**2026年6月から**、40歳以上43歳未満の患者さんを対象に、凍結胚移植支援パックを導入します。

制度の概要

- 本制度は、40歳から42歳の方において、保険での移植回数が3回で終了する中、医学的に必要な回数まで、同等の費用で継続できるようにする制度です。
- 保険終了後は、凍結胚移植は自費となり、1回あたり約25万円かかります。当院では、治療を途中で断念しないために、この部分を1周期6万円で継続できるようにします。

「保険が通らないから治療を諦める」という状況があってはならない。

3回では授からない人でも6回まで回数を重ねれば産むことができる可能性が上がる。

ここは事実。見て見ぬ振りにはしてはいけない。

制度だけで終わらせず、医療としてできることを行います。

40歳で結婚した人がどこで不妊治療をするか迷う時、3回保険が通る中、両角は3回の後ももう3回まで保険の価格で移植ができる。

それなら両角レディースクリニックに最初から行こう。こう思ってくれることが一番の願い。

我々が責任を持って、最後まで治療を支えます。

1. 制度導入の背景

現在の保険制度では、40歳以上43歳未満の方の胚移植は3回までと定められています。

しかし実臨床では、この回数では結果に至らないケースが少なくありません。

当院では制度は厳密に遵守しつつ、医学的に不足している部分を医療側が補うという考えのもと、本制度を設計しました。

この制度は、途中で治療を終わらせないために医療側が責任を持って支える仕組みです

2. 制度の概要

・ 対象

40歳以上43歳未満の方

保険診療での胚移植が3回終了した後の
4～6回目の移植周期

・ 対象治療

凍結胚移植のみ

※ 新鮮胚移植は本制度の対象外（自費対応）

・ 費用

1周期あたり 6万円（税別）

- ・ この6万円は凍結胚移植そのものだけでなく、移植周期中に必要となる診察・採血・超音波検査などをすべて含むパック料金です。
- ・ 診察回数は保険診療と同様で3回以内であり、その他も保険と同じルールで診療を行います。ただ本人の希望があり追加の検査を希望される場合には自費のため可能となり、実費での請求となります。
- ・ 妊娠日に妊娠した場合、そこで処方される薬から普段通りの実費請求となります。それ以降の費用も実費での請求となります。

3. 請求方法および返金不可について(必須説明事項)

- ・ 費用は移植周期の初日(治療開始時)に一括で請求します。**
- ・ 移植周期開始後に内膜が十分に厚くならない、ホルモン値が基準に達しない、その他医学的理由により移植が中止となった場合であっても、一度開始した移植周期については返金はいりません。この場合は回数はカウントされません。**
- ・ 移植を希望されて採血やエコーをして問題があり移植周期に入らない場合には実費での請求とします。**

4. 新鮮胚移植が対象外である理由

新鮮胚移植は、採卵・排卵誘発・薬剤・凍結胚作成などが一体となり、費用および原価の変動が大きくなります。

制度として継続的に運用するため、本制度は凍結胚移植のみを対象としています。

自費で新鮮胚移植を行う場合はパック料金での移植回数が1回減ることになります。

5. 適用判断について

- ・ 本制度は紹介状や問診などで移植の回数を確認して、医師が最終的に適用と判断した場合に適用とします。
- ・ 回数の延長や年齢に対しての例外対応は行いません。最大6回までです。

6. 転院患者さんの移植回数確認について

保険診療における胚移植回数の確認は、原則紹介状(診療情報提供書)により確認します。

保険診療で行われた胚移植の回数、自費移植の有無、実施時期を確認します。紹介状で回数が明確にならない場合自費診療での開始となります。

よくある質問

41歳です。今まで自費のみの治療をしており移植を4回しています。保険移植は0回です。この場合この制度は利用可能？

→不可です。あくまで保険で3回移植をして4回目以降が対象です。もしこの制度を利用したい場合保険で採卵をして保険の移植を3回行えば利用可能です。

40歳です。保険の移植が3回終了しました。保険の凍結胚が3個あります。ここから新たな採卵を自費でしてからこの制度を利用することは可能でしょうか？

→可能です。保険の治療は終了しており新たな採卵を自費で行うことは可能です。採卵後にこの制度で3回まで移植が可能です。

41歳です。保険の移植が3回終わりました。凍結胚はありません。この制度を利用するためにはどうしたら良いでしょうか？

→自費での採卵をまず行います。その後43歳になる前にこの制度を利用したら3回まで移植が可能です。

40歳です。保険の移植が3回終了しました。保険の凍結胚が3個あります。ここから新たな採卵を自費でしてからこの制度を利用することは可能でしょうか？

→可能です。保険の治療は終了しており新たな採卵を自費で行うことは可能です。採卵後にこの制度で3回まで移植が可能です。

39歳から治療を始めて今41歳です。保険移植が6回終了しました。凍結胚がまだありますがこの制度は利用可能でしょうか？

→不可です。あくまで40歳から治療を開始した方で保険の移植が3回終了後の方への制度です。

43歳2ヶ月です。数ヶ月しか経っていませんがこの制度は利用可能でしょうか？

→不可です。あくまで43歳未満までの方への制度です。

42歳です。今まで保険と自費とで移植を6回しています。
制度は利用可能でしょうか？

→~~不可です。あくまで6回までの移植が対象です。~~

訂正：自費移植の回数は含めないため、40歳以降に保険治療に入り、移植を上限3回行った方であれば制度利用可能です。

PGT-Aをした胚の移植も対象となりますでしょうか？
→なりません。あくまで保険での移植が可能な胚となります。

海外から移送した胚も対象になりますでしょうか？
→なりません。あくまで保険での移植が可能な胚となります。

HCG注入やPFCなどの自費の治療を併用することは可能でしょうか？

→自費診療のため可能です。ただパック外となる治療費は自費の実費での請求となります。

42歳です。保険の移植が2回終わりました。凍結胚が4個あります。次の3回目の移植にこの制度は利用可能でしょうか？

→不可です。あくまで3回終了後に制度の対象となります。

41歳です。二人目の移植に関して質問です。一人目の際に凍結した胚が6個あります。この場合はどうなりますか？

→保険で3回移植が可能です。その後はこの制度で3回移植が可能です。

メリット

- ①40歳から43歳未満だと胚盤胞6回移植をすると出産率が87%まで高まります。出産に至る可能性が高くなり安心感が増します。
- ②40歳以降で治療を始める方に対して費用面で相当なメリット。自費移植だと25万なので6万で済むとなると、3回分だとすると60万くらいの値引きになる。
- ③一人目を30代で出産し40歳以降に二人目で治療をされる方にもメリット。本来は3回しか凍結胚移植が保険で通らないが6回まで通る。
- ④年齢が上がると移植回数を増やさないと妊娠しないところ国の政策のために3回に減らされているという割り切れない思いがなくなる。
- ⑤~~保険胚の移送の場合、保管料を取れないため当院での保管費用を払う必要がない。~~→訂正:移送手数料と1年以内に前院で支払っていない場合は保管料がかかります。

40歳からの不妊治療で大切なこと

40歳からの不妊治療は、最初の選択で結果が大きく変わります。

途中からでは間に合わないこともあるため、迷われている方はまず一度ご相談ください。

こちらから初診
予約が可能です



次回のセミナー

- 高齢の治療では、治療の主語を卵子に置いて考えることが極めて重要です。顕微授精、胚盤胞培養、PGT-Aなどの高度技術は有用ですが、すべての症例に最適とは限りません。セミナーでは、卵子への負担という視点から治療戦略を見直し、卵が本来持つ力を最大限に引き出すために何を選択すべきか、わかりやすく解説します。

次回のご案内

- 次回のオンライン説明会は6月20日(土)17時00分からです。
- 次回は「卵がしてほしい治療は何か」です。
- 大勢の方のご参加をお待ちしております。
- 申し込みの案内はこの後メール致します。

ご清聴ありがとうございました

